

旧夢野中学校跡地利活用事業 事業実施計画（優先交渉権者提出資料から抜粋 1）

新たな拠点×新たな医療介護サービス＝住みやすいまち神戸



2020年、超高齢社会が本格化し介護を必要とする高齢者が増加しはじめる一方で、人手不足や施設不足による入所待機者の増加や、様々な課題に直面しています。より良い未来を迎えるため、私たちはその課題に真摯に向き合い医療介護従事者として「やるべきこと」と「できること」を新たな医療介護サービスで一つ一つ丁寧にクリアしていきます。

誰もが安心して暮らせる、活躍できるまちを目指す神戸市、やさしさと思いやりのまちを目指す兵庫区、学校に代わる地域拠点が必要な熊野町を含めた、地域全体に親和する**新たな地域健康コミュニティステージ**を目指します。



事業計画のコンセプト

地域に根差す4つの取り組み

1. 地域のニーズに合わせる柔軟性

- 入所待機者を減らす増床を計画します
- 目的や用途に応じて拡張可能な多目的室を設けます
- ヒーリングガーデンを有効利用します



2. 地域活性化を促す様々な取り組み

- 健康教室を開催します
- 生活を彩る多様なイベントを実施します
- 地域自治活動、福祉活動に積極的に関与します
- 多目的室を地域に開放します
- ボランティアと連携します



3. 地域資源を活かした施設整備

- 眺望の良い屋上庭園をイベント時に地域開放します
- 既存樹木を保存し、適切に維持管理します
- 高低差を利用した避難計画とします



4. 地域経済の活性化と雇用促進

- 神戸市在住の職員を積極的に採用します
- シルバー人材センターと連携します
- 地域の潜在労働力の掘り起こしを行います
- 地元企業を積極的に採用します

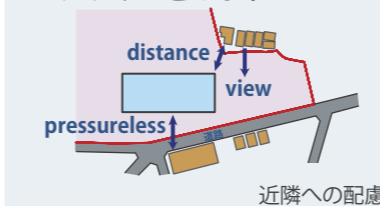


周辺住環境、ユニバーサルデザイン等の基本的な考え方や導入方針

ひとと環境にやさしい施設の整備方針

周辺住環境への配慮

- 近隣の住環境に配慮した建物配置計画とします
- 地域の避難場所とします
- 騒音を低減し、圧迫感に配慮します
- 旧夢野中学校の面影を残すデザインとします



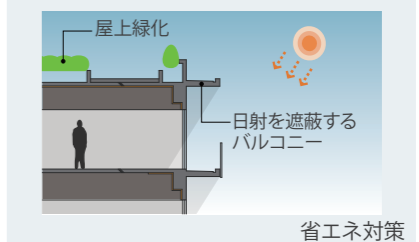
ユニバーサルデザイン

- こうべ・だれでもトイレを整備します
- わかりやすいサイン計画とします
- バリアフリーを徹底します
- 車いす駐車場を整備します



自然エネルギーの活用

- ヒートアイランドに効果的な屋上緑化を採用します
- 省エネ・防災に役立つ井水設備を設置します
- 日射の抑制に有効なバルコニーを設けます



事業計画の補足説明

介護医療院とは

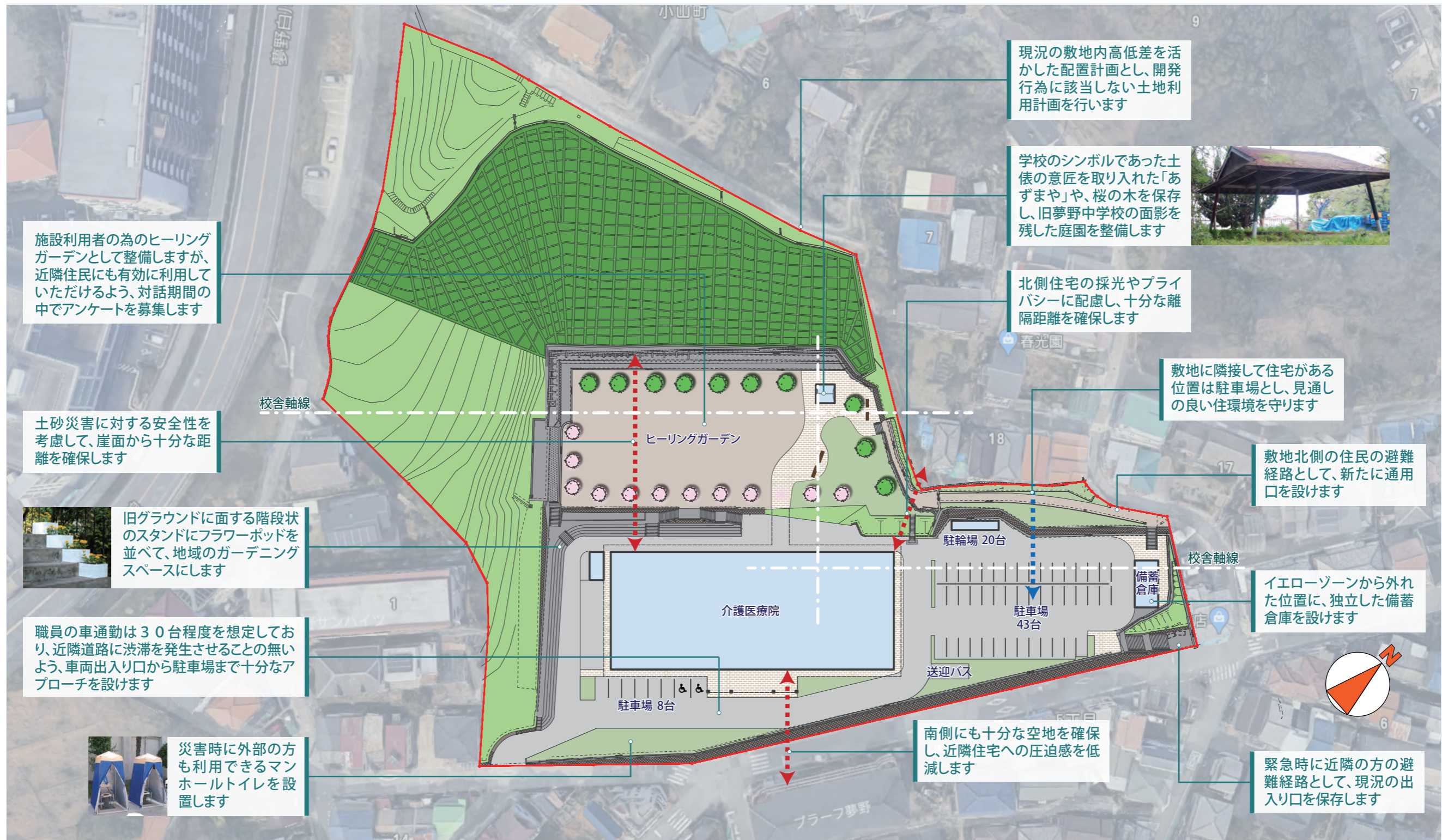
「介護医療院」は厚生労働省が推進する地域包括ケアシステムの一環として、平成30年(2018年)4月から新たな介護保険施設として創設されました。長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ要介護高齢者を対象として「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」等の医療機能と「生活施設」としての機能とを兼ね備えた、**安心して暮らせる「住まい」**です。



以上は、事業者からの提案であり、今後事業者との協議の上、変更されることがあります。

旧夢野中学校跡地利活用事業 事業実施計画（優先交渉権者提出資料から抜粋 2）

校舎軸線をそのままにコンパクトな建物配置計画



以上は、事業者からの提案であり、今後事業者との協議の上、変更されることがあります。

旧夢野中学校跡地利活用事業 事業実施計画（優先交渉権者提出資料から抜粋 3）

緑豊かなまちに調和する温もりのある外観デザイン



以上は、事業者からの提案であり、今後事業者との協議の上、変更されることがあります。